

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	5年間（2015年2月19日～2020年2月18日）
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資家	イ、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド（※1）」（以下「インカム・アロケーション・ファンド（※1）」）といいます。）の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券（※1）は、以下の各コースにおいて、次のように読み替えるものとします。 「為替ヘッジなしコース」の場合……ヘッジなし・クラス、「日本円コース」の場合……円ヘッジ・クラス、「ブラジル・レアル・コース」の場合……ブラジル・レアル・クラス、「通貨セレクト・コース」の場合……通貨セレクト・クラス
為替ヘッジなしコース	①主として、インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）の受益証券への投資を通じて、世界各国の高配当株式や債券など、さまざまな資産に投資を行ない、機動的に配分比率を調整することで、安定した利回りを追求するとともに、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②当ファンドは、インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
日本円コース	①主として、インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）の受益証券への投資を通じて、世界各国の高配当株式や債券など、さまざまな資産に投資を行ない、機動的に配分比率を調整することで、安定した利回りを追求するとともに、為替ヘッジを行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②当ファンドは、インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）では、「投資対象とする資産の通貨売り／米ドル買い」の為替取引を行ないません。その後、当該ファンドの純資産に対して、「米ドル売り／日本円買い」の為替取引を行ない、為替変動リスクの低減をめざします。
運用方法	①主として、インカム・アロケーション・ファンド（※1）の受益証券への投資を通じて、世界各国の高配当株式や債券など、さまざまな資産に投資を行ない、機動的に配分比率を調整することで、安定した利回りを追求するとともに、為替取引を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。（※1）は前述。 ②当ファンドは、インカム・アロケーション・ファンド（※1）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、インカム・アロケーション・ファンド（※1）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③インカム・アロケーション・ファンド（※1）では、「投資対象とする資産の通貨売り／米ドル買い」の為替取引を行ないません。その後、当該ファンドの純資産に対して、「米ドル売り／（※2）買い」の為替取引を行ない、（※2）への投資成果の獲得をめざします。（※2）は、以下のコースにおいて、次のように読み替えるものとします。 「ブラジル・レアル・コース」……ブラジル・レアル、「通貨セレクト・コース」……選定通貨（投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社が選定した複数の通貨をいいます。）
ブラジル・レアル・コース／通貨セレクト・コース	
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）

為替ヘッジなしコース
日本円コース
ブラジル・レアル・コース
通貨セレクト・コース

運用報告書（全体版）

第35期（決算日	2018年3月19日）
第36期（決算日	2018年4月18日）
第37期（決算日	2018年5月18日）
第38期（決算日	2018年6月18日）
第39期（決算日	2018年7月18日）
第40期（決算日	2018年8月20日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）」は、このたび、第40期の決算を行ないました。

ここに、第35期～第40期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5655>

<5656>

<5657>

<5658>

為替ヘッジなしコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
11期末(2016年3月18日)	8,746	25	1.3	0.0	99.4	6,696
12期末(2016年4月18日)	8,586	25	△ 1.5	0.0	98.0	5,982
13期末(2016年5月18日)	8,598	25	0.4	0.1	98.9	5,649
14期末(2016年6月20日)	8,196	25	△ 4.4	0.0	99.4	5,011
15期末(2016年7月19日)	8,495	25	4.0	0.0	98.8	4,967
16期末(2016年8月18日)	8,125	25	△ 4.1	0.1	98.7	4,651
17期末(2016年9月20日)	8,170	25	0.9	—	98.7	3,905
18期末(2016年10月18日)	8,310	25	2.0	0.0	98.8	3,155
19期末(2016年11月18日)	8,561	25	3.3	0.1	99.4	3,101
20期末(2016年12月19日)	9,331	25	9.3	0.0	99.0	3,080
21期末(2017年1月18日)	9,011	25	△ 3.2	0.0	98.3	2,746
22期末(2017年2月20日)	9,073	25	1.0	0.0	99.4	2,600
23期末(2017年3月21日)	9,059	25	0.1	0.0	98.1	2,499
24期末(2017年4月18日)	8,737	25	△ 3.3	0.1	98.8	2,162
25期末(2017年5月18日)	9,013	25	3.4	0.0	98.9	2,126
26期末(2017年6月19日)	9,018	25	0.3	0.0	98.9	2,135
27期末(2017年7月18日)	9,226	25	2.6	—	99.2	2,065
28期末(2017年8月18日)	8,930	25	△ 2.9	—	98.5	1,960
29期末(2017年9月19日)	9,098	25	2.2	—	99.5	1,966
30期末(2017年10月18日)	9,227	25	1.7	—	98.9	1,904
31期末(2017年11月20日)	9,189	25	△ 0.1	—	97.9	1,856
32期末(2017年12月18日)	9,253	25	1.0	—	99.2	1,771
33期末(2018年1月18日)	9,146	25	△ 0.9	—	99.0	1,640
34期末(2018年2月19日)	8,578	25	△ 5.9	—	99.4	1,538
35期末(2018年3月19日)	8,548	25	△ 0.1	—	99.0	1,524
36期末(2018年4月18日)	8,621	25	1.1	—	99.2	1,520
37期末(2018年5月18日)	8,846	25	2.9	—	99.0	1,529
38期末(2018年6月18日)	8,842	25	0.2	—	99.1	1,431
39期末(2018年7月18日)	8,987	25	1.9	—	96.3	1,386
40期末(2018年8月20日)	8,845	25	△ 1.3	—	99.0	1,323

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

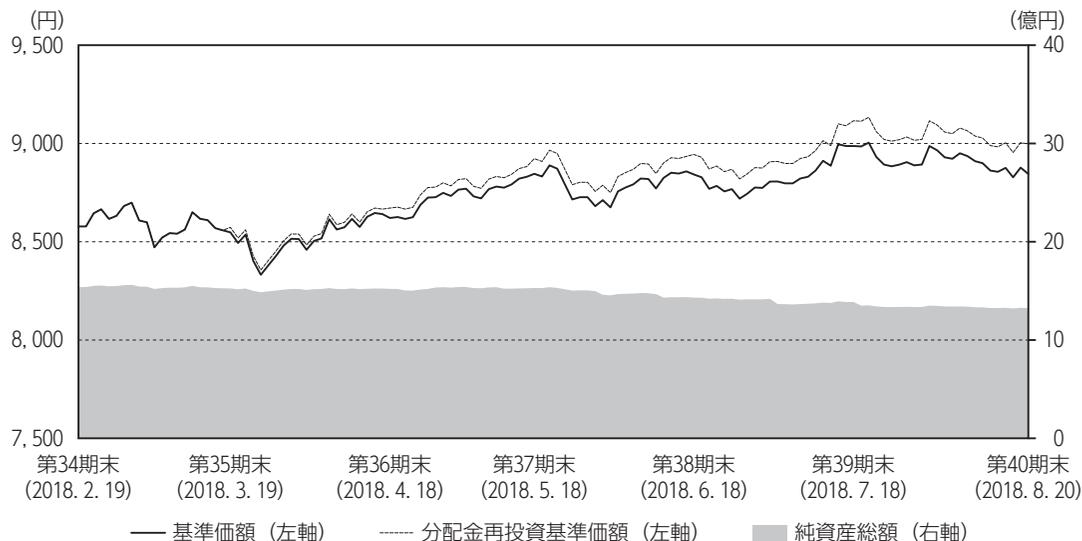
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第35期首：8,578円

第40期末：8,845円（既払分配金150円）

騰落率：4.9%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）（以下、「インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）」といいます。）で保有している新興国債券の下落などがマイナス要因となりましたが、先進国株式の上昇や、米ドルが対円で上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型） 為替ヘッジなしコース

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %		
第35期	(期首)2018年2月19日	8,578	—	—	99.4
	2月末	8,699	1.4	0.0	99.3
	(期末)2018年3月19日	8,573	△ 0.1	—	99.0
第36期	(期首)2018年3月19日	8,548	—	—	99.0
	3月末	8,515	△ 0.4	—	99.0
	(期末)2018年4月18日	8,646	1.1	—	99.2
第37期	(期首)2018年4月18日	8,621	—	—	99.2
	4月末	8,749	1.5	—	99.0
	(期末)2018年5月18日	8,871	2.9	—	99.0
第38期	(期首)2018年5月18日	8,846	—	—	99.0
	5月末	8,712	△ 1.5	—	99.4
	(期末)2018年6月18日	8,867	0.2	—	99.1
第39期	(期首)2018年6月18日	8,842	—	—	99.1
	6月末	8,774	△ 0.8	—	98.9
	(期末)2018年7月18日	9,012	1.9	—	96.3
第40期	(期首)2018年7月18日	8,987	—	—	96.3
	7月末	8,893	△ 1.0	—	99.0
	(期末)2018年8月20日	8,870	△ 1.3	—	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2018. 2. 20 ～ 2018. 8. 20）

■ 海外金融市況

海外金融市場では、株式市場は総じて堅調に推移し、債券市場はおおむねレンジでの推移となりました。

株式市場では、世界的な貿易摩擦への懸念が高まり、一部のIT（情報技術）関連企業を中心として下落する局面もありましたが、米国の好調な経済指標や、2018年4～6月期決算に対する期待感、米国の長期金利が安定した値動きとなったことなどを好感して、上昇基調となりました。

債券市場では、米国の利上げ観測を受けて2018年5月下旬までは軟調に推移しました。その後は、ECB（欧州中央銀行）が政策金利を低位に維持する方針を示したことや米中貿易摩擦への懸念が高まったことを背景として、債券市場は底堅い展開となりました。

非伝統的高利回り資産（※）では、好調な米国の住宅市場などが支援材料となり、不動産担保証券が相対的に良好なパフォーマンスでした。

※リート、優先出資証券、不動産担保証券など。

■ 為替相場

為替相場では、株価が堅調に推移したことなどから市場のリスク選好度が強まったことや、米国の金利上昇に伴う米ドル買い需要の高まりなどを背景として、米ドルは対円で堅調に推移しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

今後も、インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、証券化商品などの高利回り資産を引き続き選好する方針です。引き続きリスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、キャピタルゲインを求めた運用を行ないます。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2018. 2. 20 ~ 2018. 8. 20)

■当ファンド

当ファンドは、インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界各国のさまざまな資産への投資を行ない、機動的に各資産への配分を調整することで、安定した利回りと信託財産の着実な成長をめざしてポートフォリオを構築しました。

株式については、相対的に配当利回りの高い銘柄の組入比率を引き上げました。米国企業の堅調な業績発表が行なわれる中、バリュエーションに割安感があると判断して、米国株式を選好しました。なお、株式部分については、比較的风险を抑えた運用を行ないました。

債券については、クレジット商品の幅広い資産クラスおよびセクターに分散投資を意識した運用を行ないました。ハイ・イールド債のポジションを引き下げた一方で、より投資妙味があると判断した満期の短い債券の組入比率を引き上げました。

エマーGING債券については、世界的に貿易摩擦に対する緊張が高まっていること、米ドル高による新興市場からの資産流出懸念の高まり、中国の経済成長の鈍化懸念などを背景に、リスクを抑えた慎重な姿勢で運用を行ないました。

利回りの獲得や分散投資の観点から、魅力的な資産と考えている非伝統的高利回り資産では、不動産担保証券および優先株式などに投資しました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

第35期から第40期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ25円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	2018年2月20日 ～2018年3月19日	2018年3月20日 ～2018年4月18日	2018年4月19日 ～2018年5月18日	2018年5月19日 ～2018年6月18日	2018年6月19日 ～2018年7月18日	2018年7月19日 ～2018年8月20日
当期分配金（税込み）（円）	25	25	25	25	25	25
対基準価額比率（%）	0.29	0.29	0.28	0.28	0.28	0.28
当期の収益（円）	21	24	25	19	25	18
当期の収益以外（円）	3	0	—	5	—	6
翌期繰越分配対象額（円）	625	624	626	621	623	617

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
(a) 経費控除後の配当等収益	21.93円	24.67円	27.02円	19.51円	27.38円	18.92円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	78.79	79.28	85.36	85.96	87.14	87.58
(d) 分配準備積立金	549.55	546.00	539.60	541.03	534.38	536.33
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	650.28	649.96	651.98	646.50	648.91	642.84
(f) 分配金	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	625.28	624.96	626.98	621.50	623.91	617.84

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、証券化商品などの高利回り資産を引き続き選好する方針です。引き続きリスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、キャピタルゲインを求めた運用を行ないます。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第35期～第40期 (2018. 2. 20～2018. 8. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	53円	0.605%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,732円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.188)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(35)	(0.404)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	53	0.609	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2018年2月20日から2018年8月20日まで)

決算期	第35期～第40期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 484.031	千円 40,509	千口 3,677.359	千円 310,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2018年2月20日から2018年8月20日まで)

第35期～				第40期			
買付		売付		買付		売付	
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND NON- HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	千口 142.621	千円 12,000	円 84	MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND NON- HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	千口 3,677.359	千円 310,000	円 84

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期間（第35期～第40期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第40期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND NON- HEDGED CLASS	千口 15,362.833	千円 1,309,881	% 99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第34期末	第40期末	
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	千口 5,990	千口 5,990	千円 5,992

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年8月20日現在

項目	第40期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 1,309,881	% 98.6
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	5,992	0.5
コール・ローン等、その他	12,724	0.9
投資信託財産総額	1,328,597	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年3月19日)、(2018年4月18日)、(2018年5月18日)、(2018年6月18日)、(2018年7月18日)、(2018年8月20日)現在

項目	第35期末	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末
(A) 資産	1,530,503,013円	1,525,989,328円	1,537,817,084円	1,439,463,088円	1,397,624,880円	1,328,597,651円
コール・ローン等	15,623,734	12,291,488	17,058,808	14,859,730	15,663,954	12,724,369
投資信託受益証券（評価額）	1,508,884,870	1,507,703,431	1,514,764,466	1,418,610,147	1,335,968,314	1,309,881,269
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド（評価額）	5,994,409	5,994,409	5,993,810	5,993,211	5,992,612	5,992,013
未収入金	—	—	—	—	40,000,000	—
(B) 負債	5,909,980	5,941,546	8,515,621	8,190,420	10,966,810	5,270,375
未払収益分配金	4,459,088	4,408,042	4,322,065	4,046,639	3,857,432	3,740,438
未払解約金	6,180	—	2,637,600	2,574,002	5,663,890	—
未払信託報酬	1,435,094	1,513,784	1,525,884	1,529,115	1,395,719	1,470,759
その他未払費用	9,618	19,720	30,072	40,664	49,769	59,178
(C) 純資産総額（A－B）	1,524,593,033	1,520,047,782	1,529,301,463	1,431,272,668	1,386,658,070	1,323,327,276
元本	1,783,635,270	1,763,216,997	1,728,826,346	1,618,655,608	1,542,972,915	1,496,175,367
次期繰越損益金	△ 259,042,237	△ 243,169,215	△ 199,524,883	△ 187,382,940	△ 156,314,845	△ 172,848,091
(D) 受益権総口数	1,783,635,270口	1,763,216,997口	1,728,826,346口	1,618,655,608口	1,542,972,915口	1,496,175,367口
1万口当り基準価額（C/D）	8,548円	8,621円	8,846円	8,842円	8,987円	8,845円

*第34期末における元本額は1,793,127,664円、当作成期間（第35期～第40期）中における追加設定元本額は29,173,155円、同解約元本額は326,125,452円です。

*第40期末の計算口数当りの純資産額は8,845円です。

*第40期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は172,848,091円です。

■損益の状況

第35期 自 2018年2月20日 至 2018年3月19日 第37期 自 2018年4月19日 至 2018年5月18日 第39期 自 2018年6月19日 至 2018年7月18日
 第36期 自 2018年3月20日 至 2018年4月18日 第38期 自 2018年5月19日 至 2018年6月18日 第40期 自 2018年7月19日 至 2018年8月20日

項目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
(A) 配当等収益	5,356,988円	4,734,157円	4,838,872円	4,556,979円	4,451,877円	4,313,611円
受取配当金	5,357,251	4,734,733	4,839,053	4,557,279	4,451,917	4,313,774
受取利息	—	—	—	16	—	—
支払利息	△ 263	△ 576	△ 181	△ 316	△ 40	△ 163
(B) 有価証券売買損益	△ 4,842,570	14,106,607	39,735,323	461,045	23,122,692	△ 20,365,521
売買益	56,216	14,172,556	40,173,316	1,665,978	23,456,314	40,676
売買損	△ 4,898,786	△ 65,949	△ 437,993	△ 1,204,933	△ 333,622	△ 20,406,197
(C) 信託報酬等	△ 1,444,712	△ 1,524,063	△ 1,536,797	△ 1,540,319	△ 1,405,906	△ 1,481,497
(D) 当期損益金（A+B+C）	△ 930,294	17,316,701	43,037,398	3,477,705	26,168,663	△ 17,533,407
(E) 前期繰越損益金	△ 250,982,049	△ 253,210,070	△ 232,991,383	△ 181,695,639	△ 173,368,643	△ 146,357,724
(F) 追加信託差損益金	△ 2,670,806	△ 2,867,804	△ 5,248,833	△ 5,118,367	△ 5,257,433	△ 5,216,522
（配当等相当額）	（ 14,054,532）	（ 13,979,858）	（ 14,757,512）	（ 13,914,636）	（ 13,446,741）	（ 13,103,727）
（売買損益相当額）	（△ 16,725,338）	（△ 16,847,662）	（△ 20,006,345）	（△ 19,033,003）	（△ 18,704,174）	（△ 18,320,249）
(G) 合計（D+E+F）	△ 254,583,149	△ 238,761,173	△ 195,202,818	△ 183,336,301	△ 152,457,413	△ 169,107,653
(H) 収益分配金	△ 4,459,088	△ 4,408,042	△ 4,322,065	△ 4,046,639	△ 3,857,432	△ 3,740,438
次期繰越損益金（G+H）	△ 259,042,237	△ 243,169,215	△ 199,524,883	△ 187,382,940	△ 156,314,845	△ 172,848,091
追加信託差損益金	△ 2,670,806	△ 2,867,804	△ 5,248,833	△ 5,118,367	△ 5,257,433	△ 5,216,522
（配当等相当額）	（ 14,054,532）	（ 13,979,858）	（ 14,757,512）	（ 13,914,636）	（ 13,446,741）	（ 13,103,727）
（売買損益相当額）	（△ 16,725,338）	（△ 16,847,662）	（△ 20,006,345）	（△ 19,033,003）	（△ 18,704,174）	（△ 18,320,249）
分配準備積立金	97,474,170	96,214,996	93,637,891	86,685,866	82,822,417	79,337,142
繰越損益金	△ 353,845,601	△ 336,516,407	△ 287,913,941	△ 268,950,439	△ 233,879,829	△ 246,968,711

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は11ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,911,976円	4,350,842円	4,671,844円	3,158,164円	4,224,927円	2,831,929円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	14,054,532	13,979,858	14,757,512	13,914,636	13,446,741	13,103,727
(d) 分配準備積立金	98,021,282	96,272,196	93,288,112	87,574,341	82,454,922	80,245,651
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	115,987,790	114,602,896	112,717,468	104,647,141	100,126,590	96,181,307
(f) 分配金	4,459,088	4,408,042	4,322,065	4,046,639	3,857,432	3,740,438
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	111,528,702	110,194,854	108,395,403	100,600,502	96,269,158	92,440,869
(h) 受益権総口数	1,783,635,270口	1,763,216,997口	1,728,826,346口	1,618,655,608口	1,542,972,915口	1,496,175,367口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
		25円	25円	25円	25円	25円
(単 価)	(8,548円)	(8,621円)	(8,846円)	(8,842円)	(8,987円)	(8,845円)

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

日本円コース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	騰落 中率			
	円	円	%	%	%	百万円
11期末(2016年3月18日)	9,311	25	3.3	0.0	98.9	1,411
12期末(2016年4月18日)	9,342	25	0.6	0.0	98.4	1,308
13期末(2016年5月18日)	9,356	25	0.4	0.1	98.5	1,153
14期末(2016年6月20日)	9,302	25	△ 0.3	0.0	97.7	1,026
15期末(2016年7月19日)	9,514	25	2.5	0.0	99.1	1,034
16期末(2016年8月18日)	9,584	25	1.0	0.1	98.7	1,046
17期末(2016年9月20日)	9,454	25	△ 1.1	—	98.7	1,005
18期末(2016年10月18日)	9,443	25	0.1	0.0	98.7	992
19期末(2016年11月18日)	9,255	25	△ 1.7	0.1	99.3	940
20期末(2016年12月19日)	9,335	25	1.1	0.0	98.0	928
21期末(2017年1月18日)	9,411	25	1.1	0.0	98.6	959
22期末(2017年2月20日)	9,488	25	1.1	0.0	95.7	944
23期末(2017年3月21日)	9,469	25	0.1	0.0	97.4	907
24期末(2017年4月18日)	9,481	25	0.4	0.1	98.8	898
25期末(2017年5月18日)	9,520	25	0.7	0.0	99.0	880
26期末(2017年6月19日)	9,562	25	0.7	0.0	99.2	866
27期末(2017年7月18日)	9,607	25	0.7	—	98.0	867
28期末(2017年8月18日)	9,503	25	△ 0.8	—	97.4	838
29期末(2017年9月19日)	9,570	25	1.0	—	97.9	842
30期末(2017年10月18日)	9,582	25	0.4	—	85.9	802
31期末(2017年11月20日)	9,534	25	△ 0.2	—	98.8	697
32期末(2017年12月18日)	9,563	25	0.6	—	98.2	644
33期末(2018年1月18日)	9,566	25	0.3	—	98.4	625
34期末(2018年2月19日)	9,346	25	△ 2.0	—	98.7	611
35期末(2018年3月19日)	9,302	25	△ 0.2	—	99.1	606
36期末(2018年4月18日)	9,268	25	△ 0.1	—	99.1	595
37期末(2018年5月18日)	9,178	25	△ 0.7	—	98.8	589
38期末(2018年6月18日)	9,186	25	0.4	—	98.9	586
39期末(2018年7月18日)	9,128	15	△ 0.5	—	99.1	572
40期末(2018年8月20日)	9,167	15	0.6	—	97.8	563

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

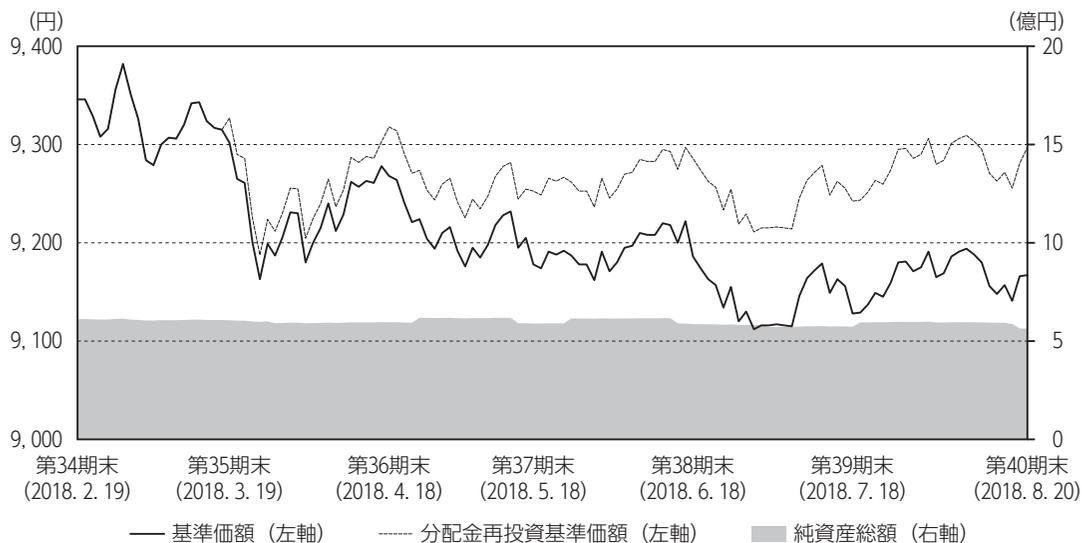
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客様の損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客様が利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

基準価額・騰落率

第35期首：9,346円

第40期末：9,167円（既払分配金130円）

騰落率：△0.5%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）（以下、「インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）」といいます。）で保有している新興国債券の下落などがマイナス要因となりましたが、先進国株式の上昇などがプラス要因となり、基準価額はほぼ横ばいとなりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型） 日本円コース

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %		
第35期	(期首)2018年 2月19日	9,346	—	—	98.7
	2月末	9,351	0.1	0.0	99.1
	(期末)2018年 3月19日	9,327	△ 0.2	—	99.1
第36期	(期首)2018年 3月19日	9,302	—	—	99.1
	3月末	9,231	△ 0.8	—	98.8
	(期末)2018年 4月18日	9,293	△ 0.1	—	99.1
第37期	(期首)2018年 4月18日	9,268	—	—	99.1
	4月末	9,210	△ 0.6	—	99.0
	(期末)2018年 5月18日	9,203	△ 0.7	—	98.8
第38期	(期首)2018年 5月18日	9,178	—	—	98.8
	5月末	9,191	0.1	—	98.8
	(期末)2018年 6月18日	9,211	0.4	—	98.9
第39期	(期首)2018年 6月18日	9,186	—	—	98.9
	6月末	9,116	△ 0.8	—	97.2
	(期末)2018年 7月18日	9,143	△ 0.5	—	99.1
第40期	(期首)2018年 7月18日	9,128	—	—	99.1
	7月末	9,175	0.5	—	98.9
	(期末)2018年 8月20日	9,182	0.6	—	97.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 2. 20 ~ 2018. 8. 20)

■海外金融市況

海外金融市場では、株式市場は総じて堅調に推移し、債券市場はおおむねレンジでの推移となりました。

株式市場では、世界的な貿易摩擦への懸念が高まり、一部のIT（情報技術）関連企業を中心として下落する局面もありましたが、米国の好調な経済指標や、2018年4 - 6月期決算に対する期待感、米国の長期金利が安定した値動きとなったことなどを好感して、上昇基調となりました。

債券市場では、米国の利上げ観測を受けて2018年5月下旬までは軟調に推移しました。その後は、ECB（欧州中央銀行）が政策金利を低位に維持する方針を示したことや米中貿易摩擦への懸念が高まったことを背景として、債券市場は底堅い展開となりました。

非伝統的高利回り資産（※）では、好調な米国の住宅市場などが支援材料となり、不動産担保証券が相対的に良好なパフォーマンスでした。

※リート、優先出資証券、不動産担保証券など。

前作成期間末における「今後の運用方針」**■当ファンド**

今後も、インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、証券化商品などの高利回り資産を引き続き選好する方針です。引き続きリスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、キャピタルゲインを求めた運用を行ないます。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

また、原資産通貨売り／円買いの為替取引を行ないます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2018. 2. 20 ~ 2018. 8. 20)

■当ファンド

当ファンドは、インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界各国のさまざまな資産への投資を行ない、機動的に各資産への配分を調整することで、安定した利回りと信託財産の着実な成長をめざしてポートフォリオを構築しました。

株式については、相対的に配当利回りの高い銘柄の組入比率を引き上げました。米国企業の堅調な業績発表が行なわれる中、バリュエーションに割安感があると判断して、米国株式を選好しました。なお、株式部分については、比較的风险を抑えた運用を行ないました。

債券については、クレジット商品の幅広い資産クラスおよびセクターに分散投資を意識した運用を行ないました。ハイ・イールド債のポジションを引き下げた一方で、より投資妙味があると判断した満期の短い債券の組入比率を引き上げました。

エマーGING債券については、世界的に貿易摩擦に対する緊張が高まっていること、米ドル高による新興市場からの資産流出懸念の高まり、中国の経済成長の鈍化懸念などを背景に、リスクを抑えた慎重な姿勢で運用を行ないました。

利回りの獲得や分散投資の観点から、魅力的な資産と考えている非伝統的高利回り資産では、不動産担保証券および優先株式などに投資しました。

また、原資産通貨売り／円買いの為替取引を行ないました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローンによる運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第35期から第38期はそれぞれ25円、第39期から第40期はそれぞれ15円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	2018年2月20日 ～2018年3月19日	2018年3月20日 ～2018年4月18日	2018年4月19日 ～2018年5月18日	2018年5月19日 ～2018年6月18日	2018年6月19日 ～2018年7月18日	2018年7月19日 ～2018年8月20日
当期分配金（税込み）（円）	25	25	25	25	15	15
対基準価額比率（％）	0.27	0.27	0.27	0.27	0.16	0.16
当期の収益（円）	10	5	7	11	4	12
当期の収益以外（円）	14	19	17	13	10	2
翌期繰越分配対象額（円）	313	294	276	263	253	250

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
(a) 経費控除後の配当等収益	10.57円	5.86円	7.01円	11.93円	4.83円	12.18円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	90.67	91.13	99.65	106.99	107.07	113.14
(d) 分配準備積立金	<u>237.23</u>	<u>222.34</u>	<u>194.68</u>	<u>169.36</u>	<u>156.20</u>	<u>139.97</u>
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	338.47	319.34	301.35	288.28	268.12	265.30
(f) 分配金	25.00	25.00	25.00	25.00	15.00	15.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	313.47	294.34	276.35	263.28	253.12	250.30

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、証券化商品などの高利回り資産を引き続き選好する方針です。引き続きリスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、キャピタルゲインを求めた運用を行ないます。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

また、原資産通貨売り／円買いの為替取引を行ないます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第35期～第40期 (2018. 2. 20～2018. 8. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	56円	0.605%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,210円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0.188)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(37)	(0.404)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	56	0.609	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況 投資信託受益証券

(2018年2月20日から2018年8月20日まで)

決算期	第35期～第40期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 847.618	千円 76,141	千口 1,357.099	千円 122,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 投資信託受益証券

(2018年2月20日から2018年8月20日まで)

第35期～第40期				第40期			
買付		平均単価		売付		平均単価	
銘柄	□数	金額	円	銘柄	□数	金額	円
MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	千口 779.322	千円 70,000	89	MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	千口 1,357.099	千円 122,000	89

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期間（第35期～第40期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第40期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND JPY HEDGED CLASS	千口 6,121.114	千円 551,530	% 97.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第34期末	第40期末	
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	千口 1,397	千口 1,397	千円 1,397

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年8月20日現在

項目	第40期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 551,530	% 92.6
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	1,397	0.2
コール・ローン等、その他	42,646	7.2
投資信託財産総額	595,574	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型） 日本円コース

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年3月19日)、(2018年4月18日)、(2018年5月18日)、(2018年6月18日)、(2018年7月18日)、(2018年8月20日)現在

項目	第35期末	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末
(A) 資産	608,253,844円	598,052,362円	617,007,958円	616,633,867円	574,233,544円	595,574,789円
コール・ローン等	6,364,443	6,258,379	33,741,685	35,511,916	5,323,276	42,646,029
投資信託受益証券（評価額）	600,490,879	590,395,461	581,867,891	579,723,709	567,512,165	551,530,797
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド（評価額）	1,398,522	1,398,522	1,398,382	1,398,242	1,398,103	1,397,963
(B) 負債	2,199,359	2,210,336	27,859,477	30,211,966	1,538,737	31,718,260
未払収益分配金	1,628,811	1,607,305	1,604,818	1,595,890	941,090	922,675
未払解約金	—	—	25,632,557	27,974,279	—	30,121,223
未払信託報酬	566,752	595,246	610,132	625,345	577,601	650,165
その他未払費用	3,796	7,785	11,970	16,452	20,046	24,197
(C) 純資産総額（A－B）	606,054,485	595,842,026	589,148,481	586,421,901	572,694,807	563,856,529
元本	651,524,604	642,922,217	641,927,254	638,356,123	627,393,707	615,116,672
次期繰越損益金	△ 45,470,119	△ 47,080,191	△ 52,778,773	△ 51,934,222	△ 54,698,900	△ 51,260,143
(D) 受益権総口数	651,524,604口	642,922,217口	641,927,254口	638,356,123口	627,393,707口	615,116,672口
1万口当り基準価額（C/D）	9,302円	9,268円	9,178円	9,186円	9,128円	9,167円

*第34期末における元本額は654,103,246円、当作成期間（第35期～第40期）中における追加設定元本額は85,043,309円、同解約元本額は124,029,883円です。

*第40期末の計算口数当りの純資産額は9,167円です。

*第40期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は51,260,143円です。

■損益の状況

第35期 自 2018年2月20日 至 2018年3月19日 第37期 自 2018年4月19日 至 2018年5月18日 第39期 自 2018年6月19日 至 2018年7月18日
 第36期 自 2018年3月20日 至 2018年4月18日 第38期 自 2018年5月19日 至 2018年6月18日 第40期 自 2018年7月19日 至 2018年8月20日

項目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
(A) 配当等収益	1,259,537円	976,341円	1,064,861円	989,333円	885,314円	898,694円
受取配当金	1,259,812	976,642	1,064,957	989,486	885,344	898,839
受取利息	—	1	—	2	—	—
支払利息	△ 275	△ 302	△ 96	△ 155	△ 30	△ 145
(B) 有価証券売買損益	△ 1,931,607	△ 969,600	△ 4,492,446	1,750,925	△ 3,018,469	3,047,645
売買益	1	98,662	116,666	1,838,602	73,242	3,100,641
売買損	△ 1,931,608	△ 1,068,262	△ 4,609,112	△ 87,677	△ 3,091,711	△ 52,996
(C) 信託報酬等	△ 570,548	△ 599,376	△ 614,607	△ 630,669	△ 582,029	△ 654,937
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 1,242,618	△ 592,635	△ 4,042,192	2,109,589	△ 2,715,184	3,291,402
(E) 前期繰越損益金	△ 32,043,552	△ 34,382,218	△ 34,994,767	△ 38,737,183	△ 37,546,292	△ 38,717,466
(F) 追加信託差損益金	△ 10,555,138	△ 10,498,033	△ 12,136,996	△ 13,710,738	△ 13,496,334	△ 14,911,404
（配当等相当額）	（ 5,907,535）	（ 5,859,362）	（ 6,397,015）	（ 6,829,849）	（ 6,717,994）	（ 6,959,897）
（売買損益相当額）	（△ 16,462,673）	（△ 16,357,395）	（△ 18,534,011）	（△ 20,540,587）	（△ 20,214,328）	（△ 21,871,301）
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 43,841,308	△ 45,472,886	△ 51,173,955	△ 50,338,332	△ 53,757,810	△ 50,337,468
(H) 収益分配金	△ 1,628,811	△ 1,607,305	△ 1,604,818	△ 1,595,890	△ 941,090	△ 922,675
次期繰越損益金（G＋H）	△ 45,470,119	△ 47,080,191	△ 52,778,773	△ 51,934,222	△ 54,698,900	△ 51,260,143
追加信託差損益金	△ 10,555,138	△ 10,498,033	△ 12,136,996	△ 13,710,738	△ 13,496,334	△ 14,911,404
（配当等相当額）	（ 5,907,535）	（ 5,859,362）	（ 6,397,015）	（ 6,829,849）	（ 6,717,994）	（ 6,959,897）
（売買損益相当額）	（△ 16,462,673）	（△ 16,357,395）	（△ 18,534,011）	（△ 20,540,587）	（△ 20,214,328）	（△ 21,871,301）
分配準備積立金	14,516,404	13,064,487	11,342,994	9,977,188	9,162,612	8,436,825
繰越損益金	△ 49,431,385	△ 49,646,645	△ 51,984,771	△ 48,200,672	△ 50,365,178	△ 44,785,564

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は22ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
(a) 経費控除後の配当等収益	688,921円	376,892円	450,225円	761,650円	303,277円	749,524円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	5,907,535	5,859,362	6,397,015	6,829,849	6,717,994	6,959,897
(d) 分配準備積立金	15,456,294	14,294,900	12,497,587	10,811,428	9,800,425	8,609,976
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	22,052,750	20,531,154	19,344,827	18,402,927	16,821,696	16,319,397
(f) 分配金	1,628,811	1,607,305	1,604,818	1,595,890	941,090	922,675
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	20,423,939	18,923,849	17,740,009	16,807,037	15,880,606	15,396,722
(h) 受益権総口数	651,524,604口	642,922,217口	641,927,254口	638,356,123口	627,393,707口	615,116,672口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	(単 価)	25円	25円	25円	25円	15円
	(9,302円)	(9,268円)	(9,178円)	(9,186円)	(9,128円)	(9,167円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ブラジル・リアル・コース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産額
		税込 分配金	騰落 中率			
	円	円	%	%	%	百万円
11期末(2016年3月18日)	7,020	100	11.7	0.0	98.7	4,355
12期末(2016年4月18日)	7,030	100	1.6	0.0	98.0	3,933
13期末(2016年5月18日)	7,107	100	2.5	0.1	98.9	3,735
14期末(2016年6月20日)	6,900	100	△ 1.5	0.0	98.7	3,348
15期末(2016年7月19日)	7,466	100	9.7	0.0	99.0	3,449
16期末(2016年8月18日)	7,261	100	△ 1.4	0.1	98.5	3,207
17期末(2016年9月20日)	7,111	100	△ 0.7	—	98.3	2,931
18期末(2016年10月18日)	7,444	100	6.1	0.0	98.6	2,939
19期末(2016年11月18日)	7,194	100	△ 2.0	0.1	99.3	2,652
20期末(2016年12月19日)	7,845	100	10.4	0.0	99.0	2,807
21期末(2017年1月18日)	7,993	100	3.2	0.0	98.1	2,661
22期末(2017年2月20日)	8,346	100	5.7	0.0	98.9	2,441
23期末(2017年3月21日)	8,283	100	0.4	0.0	98.4	2,235
24期末(2017年4月18日)	7,978	100	△ 2.5	0.1	98.1	1,812
25期末(2017年5月18日)	8,207	100	4.1	0.0	97.9	1,862
26期末(2017年6月19日)	7,750	100	△ 4.3	0.0	98.3	1,692
27期末(2017年7月18日)	8,118	100	6.0	—	99.3	1,781
28期末(2017年8月18日)	7,880	100	△ 1.7	—	94.6	1,598
29期末(2017年9月19日)	8,075	100	3.7	—	98.5	1,531
30期末(2017年10月18日)	8,013	100	0.5	—	99.1	1,524
31期末(2017年11月20日)	7,700	100	△ 2.7	—	98.6	1,435
32期末(2017年12月18日)	7,597	100	△ 0.0	—	99.2	1,382
33期末(2018年1月18日)	7,674	70	1.9	—	97.4	1,386
34期末(2018年2月19日)	7,176	70	△ 5.6	—	99.2	1,250
35期末(2018年3月19日)	6,988	70	△ 1.6	—	99.2	1,200
36期末(2018年4月18日)	6,789	70	△ 1.8	—	99.2	1,149
37期末(2018年5月18日)	6,389	70	△ 4.9	—	98.8	1,055
38期末(2018年6月18日)	6,170	70	△ 2.3	—	98.9	1,000
39期末(2018年7月18日)	6,151	45	0.4	—	95.6	988
40期末(2018年8月20日)	5,914	45	△ 3.1	—	98.2	907

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

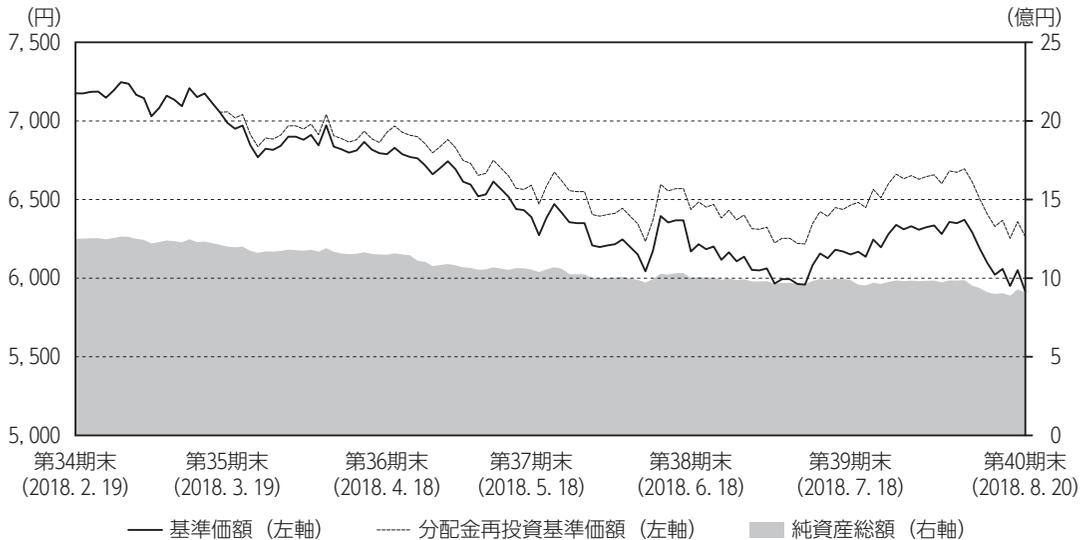
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第35期首：7,176円

第40期末：5,914円（既払分配金370円）

騰落率：△12.7%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の変動要因

ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）（以下、「インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」といいます。）で保有している先進国株式の上昇などはプラス要因となりましたが、新興国債券の下落や、為替相場でブラジル・リアルが対円で軟調に推移したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型） ブラジル・リアル・コース

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %		
第35期	(期首)2018年 2月19日	7,176	—	—	99.2
	2月末	7,236	0.8	0.0	99.1
	(期末)2018年 3月19日	7,058	△ 1.6	—	99.2
第36期	(期首)2018年 3月19日	6,988	—	—	99.2
	3月末	6,900	△ 1.3	—	99.1
	(期末)2018年 4月18日	6,859	△ 1.8	—	99.2
第37期	(期首)2018年 4月18日	6,789	—	—	99.2
	4月末	6,700	△ 1.3	—	98.9
	(期末)2018年 5月18日	6,459	△ 4.9	—	98.8
第38期	(期首)2018年 5月18日	6,389	—	—	98.8
	5月末	6,198	△ 3.0	—	99.2
	(期末)2018年 6月18日	6,240	△ 2.3	—	98.9
第39期	(期首)2018年 6月18日	6,170	—	—	98.9
	6月末	6,049	△ 2.0	—	99.1
	(期末)2018年 7月18日	6,196	0.4	—	95.6
第40期	(期首)2018年 7月18日	6,151	—	—	95.6
	7月末	6,308	2.6	—	98.9
	(期末)2018年 8月20日	5,959	△ 3.1	—	98.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 2. 20 ~ 2018. 8. 20)

■海外金融市況

海外金融市場では、株式市場は総じて堅調に推移し、債券市場はおおむねレンジでの推移となりました。

株式市場では、世界的な貿易摩擦への懸念が高まり、一部のIT（情報技術）関連企業を中心として下落する局面もありましたが、米国の好調な経済指標や、2018年4 - 6月期決算に対する期待感、米国の長期金利が安定した値動きとなったことなどを好感して、上昇基調となりました。

債券市場では、米国の利上げ観測を受けて2018年5月下旬までは軟調に推移しました。その後は、ECB（欧州中央銀行）が政策金利を低位に維持する方針を示したことや米中貿易摩擦への懸念が高まったことを背景として、債券市場は底堅い展開となりました。

非伝統的高利回り資産（※）では、好調な米国の住宅市場などが支援材料となり、不動産担保証券が相対的に良好なパフォーマンスでした。

※リート、優先出資証券、不動産担保証券など。

■為替相場

ブラジル・リアルの対円為替相場は、景気悪化懸念や政治の不透明感、米国の長期金利上昇の影響による世界的な株式市場下落に伴って投資家のリスク回避姿勢が強まったことを受けて、軟調に推移しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

当ファンドでは、証券化商品などの高利回り資産を引き続き選好する方針です。引き続きリスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、キャピタルゲインを求めた運用を行ないます。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

また、原資産通貨売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行ないます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2018. 2. 20 ~ 2018. 8. 20)

■当ファンド

当ファンドは、インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

世界各国のさまざまな資産への投資を行ない、機動的に各資産への配分を調整することで、安定した利回りと信託財産の着実な成長をめざしてポートフォリオを構築しました。

株式については、相対的に配当利回りの高い銘柄の組入比率を引き上げました。米国企業の堅調な業績発表が行なわれる中、バリュエーションに割安感があると判断して、米国株式を選好しました。なお、株式部分については、比較的风险を抑えた運用を行ないました。

債券については、クレジット商品の幅広い資産クラスおよびセクターに分散投資を意識した運用を行ないました。ハイ・イールド債のポジションを引き下げた一方で、より投資妙味があると判断した満期の短い債券の組入比率を引き上げました。

エマージング債券については、世界的に貿易摩擦に対する緊張が高まっていること、米ドル高による新興市場からの資産流出懸念の高まり、中国の経済成長の鈍化懸念などを背景に、リスクを抑えた慎重な姿勢で運用を行ないました。

利回りの獲得や分散投資の観点から、魅力的な資産と考えている非伝統的高利回り資産では、不動産担保証券および優先株式などに投資しました。

また、原資産通貨売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行ないました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローンによる運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第35期から第38期はそれぞれ70円、第39期から第40期はそれぞれ45円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	2018年2月20日 ～2018年3月19日	2018年3月20日 ～2018年4月18日	2018年4月19日 ～2018年5月18日	2018年5月19日 ～2018年6月18日	2018年6月19日 ～2018年7月18日	2018年7月19日 ～2018年8月20日
当期分配金（税込み）（円）	70	70	70	70	45	45
対基準価額比率（％）	0.99	1.02	1.08	1.12	0.73	0.76
当期の収益（円）	48	39	35	36	35	33
当期の収益以外（円）	21	30	34	33	9	11
翌期繰越分配対象額（円）	196	166	132	99	90	79

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
(a) 経費控除後の配当等収益	48.51円	39.44円	35.29円	36.36円	35.50円	33.69円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	107.24	107.40	109.79	111.34	99.70	91.18
(d) 分配準備積立金	111.00	89.36	57.30	21.99	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	266.77	236.22	202.39	169.70	135.21	124.87
(f) 分配金	70.00	70.00	70.00	70.00	45.00	45.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	196.77	166.22	132.39	99.70	90.21	79.87

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■インカム・アロケーション・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

当ファンドでは、証券化商品などの高利回り資産を引き続き選好する方針です。引き続きリスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、キャピタルゲインを求めた運用を行ないます。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

また、原資産通貨売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行ないます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第35期～第40期 (2018. 2. 20～2018. 8. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	39円	0.603%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6,536円です。
(投 信 会 社)	(12)	(0.188)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(26)	(0.403)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	40	0.607	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2018年2月20日から2018年8月20日まで)

決算期	第35期～第40期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	1,071.467	67,709	3,626.929	235,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2018年2月20日から2018年8月20日まで)

第35期～				第40期			
買付				売付			
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND BRL CLASS (ケイマン諸島)	377.233	23,000	60	MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND BRL CLASS (ケイマン諸島)	3,626.929	235,000	64

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期間（第35期～第40期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第40期末		
	□数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND BRL CLASS	15,023.004	890,879	98.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第34期末	第40期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	3,994	3,994	3,995

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年8月20日現在

項目	第40期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	890,879	97.3
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	3,995	0.4
コール・ローン等、その他	20,661	2.3
投資信託財産総額	915,536	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年3月19日)、(2018年4月18日)、(2018年5月18日)、(2018年6月18日)、(2018年7月18日)、(2018年8月20日)現在

項目	第35期末	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末
(A) 資産	1,214,189,435円	1,164,468,008円	1,070,144,980円	1,030,088,994円	1,011,626,051円	915,536,319円
コール・ローン等	19,013,620	20,328,740	23,597,383	36,670,998	13,093,749	20,661,947
投資信託受益証券（評価額）	1,191,179,012	1,140,142,465	1,042,551,193	989,421,991	944,536,698	890,879,166
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド（評価額）	3,996,803	3,996,803	3,996,404	3,996,005	3,995,605	3,995,206
未収入金	—	—	—	—	49,999,999	—
(B) 負債	13,193,187	15,100,228	14,631,265	29,970,666	23,413,009	8,001,689
未払金	—	—	—	—	10,000,000	—
未払収益分配金	12,030,492	11,851,553	11,563,983	11,346,965	7,229,761	6,905,942
未払解約金	—	2,060,100	1,955,100	17,541,196	5,162,640	—
未払信託報酬	1,154,923	1,173,031	1,089,064	1,052,132	984,107	1,052,229
その他未払費用	7,772	15,544	23,118	30,373	36,501	43,518
(C) 純資産総額（A－B）	1,200,996,248	1,149,367,780	1,055,513,715	1,000,118,328	988,213,042	907,534,630
元本	1,718,641,757	1,693,079,070	1,651,997,674	1,620,995,021	1,606,613,605	1,534,653,882
次期繰越損益金	△ 517,645,509	△ 543,711,290	△ 596,483,959	△ 620,876,693	△ 618,400,563	△ 627,119,252
(D) 受益権総口数	1,718,641,757口	1,693,079,070口	1,651,997,674口	1,620,995,021口	1,606,613,605口	1,534,653,882口
1万口当り基準価額（C/D）	6,988円	6,789円	6,389円	6,170円	6,151円	5,914円

*第34期末における元本額は1,742,138,965円、当作成期間（第35期～第40期）中における追加設定元本額は139,255,312円、同解約元本額は346,740,395円です。

*第40期末の計算口数当りの純資産額は5,914円です。

*第40期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は627,119,252円です。

■損益の状況

第35期 自 2018年2月20日 至 2018年3月19日 第37期 自 2018年4月19日 至 2018年5月18日 第39期 自 2018年6月19日 至 2018年7月18日

第36期 自 2018年3月20日 至 2018年4月18日 第38期 自 2018年5月19日 至 2018年6月18日 第40期 自 2018年7月19日 至 2018年8月20日

項目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
(A) 配当等収益	9,501,347円	7,859,929円	6,928,306円	6,955,381円	6,696,118円	6,231,290円
受取配当金	9,501,853	7,860,285	6,928,494	6,955,586	6,696,141	6,231,870
受取利息	—	1	3	3	—	—
支払利息	△ 506	△ 357	△ 191	△ 208	△ 23	△ 580
(B) 有価証券売買損益	△ 28,531,238	△ 28,592,150	△ 59,163,080	△ 29,993,538	△ 1,506,866	△ 33,854,540
売買益	109,513	358,755	348,663	401,879	120,281	575,715
売買損	△ 28,640,751	△ 28,950,905	△ 59,511,743	△ 30,395,417	△ 1,627,147	△ 34,430,255
(C) 信託報酬等	△ 1,162,695	△ 1,180,998	△ 1,097,384	△ 1,060,215	△ 991,205	△ 1,060,235
(D) 当期損益金（A+B+C）	△ 20,192,586	△ 21,913,219	△ 53,332,158	△ 24,098,372	4,198,047	△ 28,683,485
(E) 前期繰越損益金	△ 387,867,453	△ 413,113,953	△ 424,812,882	△ 467,683,931	△ 495,738,374	△ 461,500,982
(F) 追加信託差損益金	△ 97,554,978	△ 96,832,565	△ 106,774,936	△ 117,747,425	△ 119,630,475	△ 130,028,843
(配当等相当額)	(18,432,127)	(18,184,680)	(18,138,466)	(18,048,765)	(16,018,835)	(13,993,200)
(売買損益相当額)	(△ 115,987,105)	(△ 115,017,245)	(△ 124,913,402)	(△ 135,796,190)	(△ 135,649,310)	(△ 144,022,043)
(G) 合計（D+E+F）	△ 505,615,017	△ 531,859,737	△ 584,919,976	△ 609,529,728	△ 611,170,802	△ 620,213,310
(H) 収益分配金	△ 12,030,492	△ 11,851,553	△ 11,563,983	△ 11,346,965	△ 7,229,761	△ 6,905,942
次期繰越損益金（G+H）	△ 517,645,509	△ 543,711,290	△ 596,483,959	△ 620,876,693	△ 618,400,563	△ 627,119,252
追加信託差損益金	△ 97,554,978	△ 96,832,565	△ 106,774,936	△ 119,633,967	△ 121,155,347	△ 131,763,853
(配当等相当額)	(18,432,127)	(18,184,680)	(18,138,466)	(16,162,223)	(14,493,963)	(12,258,190)
(売買損益相当額)	(△ 115,987,105)	(△ 115,017,245)	(△ 124,913,402)	(△ 135,796,190)	(△ 135,649,310)	(△ 144,022,043)
分配準備積立金	15,386,415	9,958,052	3,733,196	—	—	—
繰越損益金	△ 435,476,946	△ 456,836,777	△ 493,442,219	△ 501,242,726	△ 497,245,216	△ 495,355,399

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は33ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
(a) 経費控除後の配当等収益	8,338,454円	6,678,718円	5,830,833円	5,895,131円	5,704,889円	5,170,932円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	18,432,127	18,184,680	18,138,466	18,048,765	16,018,835	13,993,200
(d) 分配準備積立金	19,078,453	15,130,887	9,466,346	3,565,292	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	45,849,034	39,994,285	33,435,645	27,509,188	21,723,724	19,164,132
(f) 分配金	12,030,492	11,851,553	11,563,983	11,346,965	7,229,761	6,905,942
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	33,818,542	28,142,732	21,871,662	16,162,223	14,493,963	12,258,190
(h) 受益権総口数	1,718,641,757口	1,693,079,070口	1,651,997,674口	1,620,995,021口	1,606,613,605口	1,534,653,882口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
		70円	70円	70円	70円	45円
(単 価)	(6,988円)	(6,789円)	(6,389円)	(6,170円)	(6,151円)	(5,914円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨セレクト・コース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	額		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産額
		税込み 分配金	期騰落 中率			
	円	円	%	%	%	百万円
11期末(2016年3月18日)	7,358	80	5.6	0.0	98.4	1,866
12期末(2016年4月18日)	7,219	80	△ 0.8	0.0	98.4	1,620
13期末(2016年5月18日)	7,110	80	△ 0.4	0.1	98.5	1,423
14期末(2016年6月20日)	6,774	80	△ 3.6	0.0	99.3	1,244
15期末(2016年7月19日)	7,176	80	7.1	0.0	98.1	1,201
16期末(2016年8月18日)	6,855	80	△ 3.4	0.1	98.3	1,129
17期末(2016年9月20日)	6,686	80	△ 1.3	—	98.7	1,056
18期末(2016年10月18日)	6,826	80	3.3	0.0	99.2	1,031
19期末(2016年11月18日)	6,659	80	△ 1.3	0.1	97.9	934
20期末(2016年12月19日)	7,195	80	9.3	0.0	98.1	939
21期末(2017年1月18日)	6,983	80	△ 1.8	0.0	97.9	903
22期末(2017年2月20日)	7,174	80	3.9	0.0	98.7	912
23期末(2017年3月21日)	7,194	80	1.4	0.0	97.4	875
24期末(2017年4月18日)	6,919	80	△ 2.7	0.1	98.4	777
25期末(2017年5月18日)	7,141	80	4.4	0.0	97.8	778
26期末(2017年6月19日)	7,086	80	0.4	0.0	98.5	733
27期末(2017年7月18日)	7,196	80	2.7	—	97.1	785
28期末(2017年8月18日)	6,952	80	△ 2.3	—	97.9	734
29期末(2017年9月19日)	7,147	80	4.0	—	99.0	762
30期末(2017年10月18日)	6,991	80	△ 1.1	—	98.1	753
31期末(2017年11月20日)	6,789	80	△ 1.7	—	99.4	710
32期末(2017年12月18日)	6,846	80	2.0	—	98.2	693
33期末(2018年1月18日)	6,872	60	1.3	—	98.6	669
34期末(2018年2月19日)	6,463	60	△ 5.1	—	98.7	615
35期末(2018年3月19日)	6,305	60	△ 1.5	—	99.2	598
36期末(2018年4月18日)	6,248	60	0.0	—	99.0	574
37期末(2018年5月18日)	6,046	60	△ 2.3	—	98.4	555
38期末(2018年6月18日)	5,870	60	△ 1.9	—	97.7	538
39期末(2018年7月18日)	5,975	40	2.5	—	99.0	545
40期末(2018年8月20日)	5,480	40	△ 7.6	—	98.7	446

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

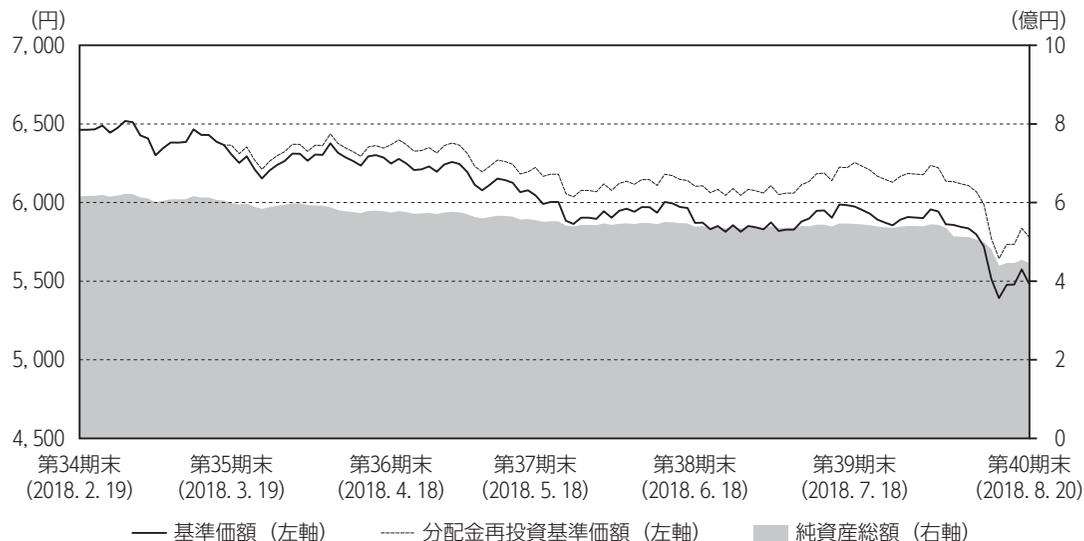
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第35期首：6,463円

第40期末：5,480円（既払分配金320円）

騰落率：△10.6%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の変動要因

ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）（以下、「インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）」といいます。）で保有している先進国株式の上昇などはプラス要因となりましたが、新興国債券の下落や、為替相場で一部の選定通貨が対円で軟調に推移したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %		
第35期	(期首)2018年 2月19日	6,463	—	—	98.7
	2月末	6,511	0.7	0.0	98.6
	(期末)2018年 3月19日	6,365	△ 1.5	—	99.2
第36期	(期首)2018年 3月19日	6,305	—	—	99.2
	3月末	6,311	0.1	—	99.5
	(期末)2018年 4月18日	6,308	0.0	—	99.0
第37期	(期首)2018年 4月18日	6,248	—	—	99.0
	4月末	6,242	△ 0.1	—	98.9
	(期末)2018年 5月18日	6,106	△ 2.3	—	98.4
第38期	(期首)2018年 5月18日	6,046	—	—	98.4
	5月末	5,945	△ 1.7	—	98.3
	(期末)2018年 6月18日	5,930	△ 1.9	—	97.7
第39期	(期首)2018年 6月18日	5,870	—	—	97.7
	6月末	5,829	△ 0.7	—	97.6
	(期末)2018年 7月18日	6,015	2.5	—	99.0
第40期	(期首)2018年 7月18日	5,975	—	—	99.0
	7月末	5,901	△ 1.2	—	98.9
	(期末)2018年 8月20日	5,520	△ 7.6	—	98.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 2. 20 ~ 2018. 8. 20)

■ 海外金融市況

海外金融市場では、株式市場は総じて堅調に推移し、債券市場はおおむねレンジでの推移となりました。

株式市場では、世界的な貿易摩擦への懸念が高まり、一部のIT（情報技術）関連企業を中心として下落する局面もありましたが、米国の好調な経済指標や、2018年4～6月期決算に対する期待感、米国の長期金利が安定した値動きとなったことなどを好感して、上昇基調となりました。

債券市場では、米国の利上げ観測を受けて2018年5月下旬までは軟調に推移しました。その後は、ECB（欧州中央銀行）が政策金利を低位に維持する方針を示したことや米中貿易摩擦への懸念が高まったことを背景として、債券市場は底堅い展開となりました。

非伝統的高利回り資産（※）では、好調な米国の住宅市場などが支援材料となり、不動産担保証券が相対的に良好なパフォーマンスでした。

※リート、優先出資証券、不動産担保証券など。

■ 為替相場

選定通貨（※）は、対円でおおむね下落しました。

第35期首から2018年6月末にかけては、米国金利の上昇や米ドル高を背景とした新興国からの資金流出への懸念などから、選定通貨は対円でおおむね下落しました。その後は、個別国の材料などに左右されつつ、選定通貨はまちまちな動きとなりました。特に、大統領選挙を通過し政治的不透明感が後退したメキシコ・ペソが上昇した一方で、対米関係の悪化や中央銀行の独立性が懸念されたトルコ・リラは大きく下落となりました。

当作成期間においては、インド・ルピー、インドネシア・ルピア、ロシア・ルーブル、トルコ・リラ、ブラジル・レアル、中国・人民元、南アフリカ・ランドは対円で下落しました。一方で、メキシコ・ペソは対円で上昇しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）

当ファンドでは、証券化商品などの高利回り資産を引き続き選好する方針です。引き続きリスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、キャピタルゲインを求めた運用を行ないます。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

また、原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を行ないます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2018. 2. 20 ~ 2018. 8. 20)

■当ファンド

当ファンドは、インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）

世界各国のさまざまな資産への投資を行ない、機動的に各資産への配分を調整することで、安定した利回りと信託財産の着実な成長をめざしてポートフォリオを構築しました。

株式については、相対的に配当利回りの高い銘柄の組入比率を引き上げました。米国企業の堅調な業績発表が行なわれる中、バリュエーションに割安感があると判断して、米国株式を選好しました。なお、株式部分については、比較的风险を抑えた運用を行ないました。

債券については、クレジット商品の幅広い資産クラスおよびセクターに分散投資を意識した運用を行ないました。ハイ・イールド債のポジションを引き下げた一方で、より投資妙味があると判断した満期の短い債券の組入比率を引き上げました。

エマージング債券については、世界的に貿易摩擦に対する緊張が高まっていること、米ドル高による新興市場からの資産流出懸念の高まり、中国の経済成長の鈍化懸念などを背景に、リスクを抑えた慎重な姿勢で運用を行ないました。

利回りの獲得や分散投資の観点から、魅力的な資産と考えている非伝統的高利回り資産では、不動産担保証券および優先株式などに投資しました。

また、原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を行ないました。取引対象通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行ないました。取引対象通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローンによる運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

1万口当たり分配金（税込み）は、第35期から第38期はそれぞれ60円、第39期から第40期はそれぞれ40円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当たり）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	2018年2月20日 ～2018年3月19日	2018年3月20日 ～2018年4月18日	2018年4月19日 ～2018年5月18日	2018年5月19日 ～2018年6月18日	2018年6月19日 ～2018年7月18日	2018年7月19日 ～2018年8月20日
当期分配金（税込み）（円）	60	60	60	60	40	40
対基準価額比率（％）	0.94	0.95	0.98	1.01	0.67	0.72
当期の収益（円）	47	42	43	46	40	40
当期の収益以外（円）	12	17	16	13	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	142	125	108	95	107	115

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
(a) 経費控除後の配当等収益	47.60円	42.34円	43.30円	46.94円	52.37円	47.87円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	73.25	73.38	73.48	73.54	73.59	73.64
(d) 分配準備積立金	82.01	69.49	51.74	34.97	21.87	34.20
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	202.87	185.22	168.52	155.47	147.85	155.72
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	142.87	125.22	108.52	95.47	107.85	115.72

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■ 当ファンド

今後も、インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ インカム・アロケーション・ファンド（通貨セレクト・クラス）

当ファンドでは、証券化商品などの高利回り資産を引き続き選好する方針です。引き続きリスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、キャピタルゲインを求めた運用を行ないます。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

また、原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を行ないます。

■ ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第35期～第40期 (2018. 2. 20～2018. 8. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	37円	0.603%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6,077円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0.188)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(24)	(0.403)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	37	0.607	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2018年2月20日から2018年8月20日まで)

決算期	第35期～第40期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	481.466	28,921	1,895.205	111,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2018年2月20日から2018年8月20日まで)

第35期～第40期							
買付				売付			
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	1,895.205	111,000	58

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期間（第35期～第40期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第40期末		
	□数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND CURRENCY SELECTION CLASS	8,052.797	440,463	98.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第34期末	第40期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	1,597	1,597	1,598

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年8月20日現在

項目	第40期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	440,463	97.8
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	1,598	0.4
コール・ローン等、その他	8,208	1.8
投資信託財産総額	450,270	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型） 通貨セレクト・コース

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年3月19日)、(2018年4月18日)、(2018年5月18日)、(2018年6月18日)、(2018年7月18日)、(2018年8月20日)現在

項目	第35期末	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末
(A) 資産	607,188,396円	580,453,035円	562,973,800円	544,557,750円	549,946,213円	450,270,145円
コール・ローン等	11,551,214	9,979,181	14,955,170	16,610,800	8,242,719	8,208,180
投資信託受益証券（評価額）	594,038,441	568,875,113	546,420,049	526,348,529	540,105,232	440,463,863
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド（評価額）	1,598,741	1,598,741	1,598,581	1,598,421	1,598,262	1,598,102
(B) 負債	8,203,600	6,110,991	7,870,366	6,083,388	4,211,214	3,846,358
未払収益分配金	5,700,502	5,515,839	5,078,772	5,503,611	3,653,488	3,258,328
未払解約金	1,929,000	—	1,780,124	—	—	—
未払信託報酬	570,263	587,447	569,880	564,232	538,470	565,280
その他未払費用	3,835	7,705	11,590	15,545	19,256	22,750
(C) 純資産総額（A－B）	598,984,796	574,342,044	555,103,434	538,474,362	545,734,999	446,423,787
元本	950,083,701	919,306,517	918,128,798	917,268,516	913,372,095	814,582,246
次期繰越損益金	△ 351,098,905	△ 344,964,473	△ 363,025,364	△ 378,794,154	△ 367,637,096	△ 368,158,459
(D) 受益権総口数	950,083,701口	919,306,517口	918,128,798口	917,268,516口	913,372,095口	814,582,246口
1万口当り基準価額（C/D）	6,305円	6,248円	6,046円	5,870円	5,975円	5,480円

*第34期末における元本額は952,748,435円、当作成期間（第35期～第40期）中における追加設定元本額は10,074,151円、同解約元本額は148,240,340円です。

*第40期末の計算口数当りの純資産額は5,480円です。

*第40期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は368,158,459円です。

■損益の状況

第35期 自 2018年2月20日 至 2018年3月19日 第37期 自 2018年4月19日 至 2018年5月18日 第39期 自 2018年6月19日 至 2018年7月18日

第36期 自 2018年3月20日 至 2018年4月18日 第38期 自 2018年5月19日 至 2018年6月18日 第40期 自 2018年7月19日 至 2018年8月20日

項目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
(A) 配当等収益	5,096,950円	4,484,535円	4,549,660円	4,874,740円	4,980,939円	4,469,136円
受取配当金	5,097,301	4,484,792	4,549,773	4,874,829	4,981,000	4,469,564
受取利息	—	1	—	2	—	—
支払利息	△ 351	△ 258	△ 113	△ 91	△ 61	△ 428
(B) 有価証券売買損益	△ 13,890,367	△ 3,616,545	△ 16,969,702	△ 14,911,216	8,763,632	△ 40,924,983
売買益	29,167	127,058	48,058	38,283	8,766,420	3,229,489
売買損	△ 13,919,534	△ 3,743,603	△ 17,017,760	△ 14,949,499	△ 2,788	△ 44,154,472
(C) 信託報酬等	△ 574,098	△ 591,396	△ 573,945	△ 568,634	△ 542,978	△ 569,448
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 9,367,515	△ 276,594	△ 12,993,987	△ 10,605,110	13,201,593	△ 37,025,295
(E) 前期繰越損益金	△ 269,154,386	△ 274,525,096	△ 278,881,664	△ 296,529,642	△ 310,649,170	△ 268,163,407
(F) 追加信託差損益金	△ 66,876,502	△ 65,200,132	△ 65,640,941	△ 66,155,791	△ 66,536,031	△ 59,711,429
(配当等相当額)	(6,960,237)	(6,746,205)	(6,746,544)	(6,746,496)	(6,722,129)	(5,998,953)
(売買損益相当額)	(△ 73,836,739)	(△ 71,946,337)	(△ 72,387,485)	(△ 72,902,287)	(△ 73,258,160)	(△ 65,710,382)
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 345,398,403	△ 339,448,634	△ 357,516,592	△ 373,290,543	△ 363,983,608	△ 364,900,131
(H) 収益分配金	△ 5,700,502	△ 5,515,839	△ 5,508,772	△ 5,503,611	△ 3,653,488	△ 3,258,328
次期繰越損益金（G＋H）	△ 351,098,905	△ 344,964,473	△ 363,025,364	△ 378,794,154	△ 367,637,096	△ 368,158,459
追加信託差損益金	△ 66,876,502	△ 65,200,132	△ 65,640,941	△ 66,155,791	△ 66,536,031	△ 59,711,429
(配当等相当額)	(6,960,237)	(6,746,205)	(6,746,544)	(6,746,496)	(6,722,129)	(5,998,953)
(売買損益相当額)	(△ 73,836,739)	(△ 71,946,337)	(△ 72,387,485)	(△ 72,902,287)	(△ 73,258,160)	(△ 65,710,382)
分配準備積立金	6,614,250	4,765,799	3,217,672	2,010,905	3,128,776	3,427,832
繰越損益金	△ 290,836,653	△ 284,530,140	△ 300,602,095	△ 314,649,268	△ 304,229,841	△ 311,874,862

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は44ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,522,775円	3,893,057円	3,975,681円	4,306,093円	4,784,155円	3,899,643円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	6,960,237	6,746,205	6,746,544	6,746,496	6,722,129	5,998,953
(d) 分配準備積立金	7,791,977	6,388,581	4,750,763	3,208,423	1,998,109	2,786,517
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	19,274,989	17,027,843	15,472,988	14,261,012	13,504,393	12,685,113
(f) 分配金	5,700,502	5,515,839	5,508,772	5,503,611	3,653,488	3,258,328
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	13,574,487	11,512,004	9,964,216	8,757,401	9,850,905	9,426,785
(h) 受益権総口数	950,083,701口	919,306,517口	918,128,798口	917,268,516口	913,372,095口	814,582,246口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
		60円	60円	60円	60円	40円
(単 価)	(6,305円)	(6,248円)	(6,046円)	(5,870円)	(5,975円)	(5,480円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）

ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド
 （ヘッジなし・クラス／円ヘッジ・クラス／
 ブラジル・レアル・クラス／通貨セレクト・クラス）

当ファンド（通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス／円ヘッジ・クラス／ブラジル・レアル・クラス／通貨セレクト・クラス）」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2018年8月20日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表
 2017年7月31日

資産

投資資産の評価額（簿価 \$22,069,492）	\$	22,524,848
利害関係人への投資（簿価 \$30,094,119）		31,084,673
現金		1,614
外国為替先渡契約による評価益		1,235,979
先物取引に係る未収変動証拠金		214,862
未収：		
売却済みの投資		253,897
利息		22,310
配当		612
前払受託会社報酬		5,321
資産合計		55,344,116

負債

保管会社に対する支払		211
預り金		870,000
外国為替先渡契約による評価損		18,628
未払：		
購入済み投資		1,943,961
購入済み利害関係人への投資		755,930
解約済み受益証券		362,007
運用会社報酬		86,887
専門家報酬		65,920
保管会社報酬		30,858
会計および管理会社報酬		13,803
名義書換代理人報酬		3,505
為替取引執行会社報酬		1,492
決済済み為替先渡契約		90
負債合計		4,153,292

純資産

\$ 51,190,824

純資産

ブラジル・レアル・クラス	\$	15,556,054
通貨セレクト・クラス		6,781,425
円ヘッジ・クラス		9,619,949
ヘッジなし・クラス		19,233,396
		51,190,824

発行済み受益証券口数

ブラジル・レアル・クラス	21,960,810
通貨セレクト・クラス	10,813,024
円ヘッジ・クラス	11,401,966
ヘッジなし・クラス	24,311,398

受益証券1口当り純資産額

ブラジル・レアル・クラス	\$	0.708
通貨セレクト・クラス	\$	0.627
円ヘッジ・クラス	\$	0.844
ヘッジなし・クラス	\$	0.791

損益計算書

2017年7月31日に終了した年度

投資収益

受取利息（源泉徴収税 \$876控除後）	\$	607,342
配当収益（源泉徴収税 \$37,352控除後）		1,269,550
利害関係人への投資からの受取配当金（源泉徴収税 \$516,179控除後）		1,305,174
投資収益合計		3,182,066

費用

運用会社報酬		459,655
保管会社報酬		118,301
専門家報酬		77,135
会計および管理会社報酬		59,138
為替取引執行会社報酬		22,023
名義書換代理人報酬		14,025
受託会社報酬		12,652
その他費用		8,190
支払利息		2,249
登録料		769
費用合計		774,137

投資純利益

2,407,929

実現益（損）および評価益（損）：

実現益：

証券投資		751,470
利害関係人への投資		952,212
先物取引		445,014
スワップ契約		29,204
外国為替取引および外国為替先渡契約		1,541,265
純実現益		3,719,165

評価益（損）の純変動：

証券投資		(631,988)
利害関係人への投資		(199,650)
スワップ契約		4,539
先物取引		311
外国為替換算および外国為替先渡契約		549,493
評価損の純変動		(277,295)

純実現・純評価益

3,441,870

運用による純資産の純増

\$ 5,849,799

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）

投資明細表
2017年7月31日現在

	元本	有価証券の明細	評価額
		債券 (22.6%)	
		オランダ (0.5%)	
		電力 (0.2%)	
E U R	100,000	Gas Natural Fenosa Finance BV ^{(a), (b), (c)} 4.13% due 11/29/49	\$ 126,928
		メディア (0.3%)	
E U R	100,000	Ziggo Bond BV ^(a) 7.13% due 05/15/24	133,227
		オランダ合計 (簿価 \$241,129)	260,155
		米国 (22.1%)	
		商業用不動産担保証券 (6.1%)	
U S D	1,000,000	COMM 2015-CCRE23 Mortgage Trust Class CME ^{(b), (d)} 3.68% due 05/10/48	973,410
		Core Industrial Trust 2015-CALW Class G ^{(b), (d)}	
U S D	140,000	3.85% due 02/10/34	137,030
		Core Industrial Trust 2015-TEXW Class E ^{(b), (d)}	
U S D	1,000,000	3.85% due 02/10/34	993,579
		GAHR Commercial Mortgage Trust 2015-NRF Class EFX ^{(b), (d)}	
U S D	1,000,000	3.38% due 12/15/34	1,002,241
		商業サービス (0.0%)	
		ADT Corp.	
U S D	10,000	3.50% due 07/15/22	9,887
		住宅資産 ABS (6.9%)	
		Bear Stearns Asset Backed Securities I Trust 2007-AQ2 Class A2 ^{(a), (b)}	
U S D	655,148	1.40% due 01/25/37	652,705
		Bear Stearns Asset Backed Securities I Trust 2007-HE1 Class 21A2 ^{(a), (b)}	
U S D	1,157,411	1.39% due 01/25/37	1,082,741
		Bear Stearns Asset Backed Securities I Trust 2007-HE2 Class 22A ^{(a), (b)}	
U S D	1,025,449	1.37% due 03/25/37	963,079
		Bear Stearns Asset Backed Securities I Trust 2007-HE3 Class 2A ^{(a), (b)}	
U S D	960,123	1.37% due 04/25/37	807,741
		インターネット (0.1%)	
		IAC / InterActiveCorp ^(a)	
U S D	31,000	4.88% due 11/30/18	31,349
		組立住宅 ABS (2.0%)	
		Conseco Finance Securitizations Corp. Class M1 ^{(a), (b)}	
U S D	1,100,000	2.98% due 09/01/33	1,025,132
		その他 ABS (1.1%)	
		Bear Stearns Asset Backed Securities I Trust 2007-FS1 Class 1A3 ^{(a), (b)}	
U S D	588,969	1.40% due 05/25/35	591,435
		パイプライン (0.1%)	
		Tesoro Logistics LP / Tesoro Logistics Finance Corp. ^(a)	
U S D	40,000	6.25% due 10/15/22	42,500
		モーゲージ債権担保ホールローン (5.8%)	
		Alternative Loan Trust 2005-IM1 Class A1 ^{(a), (b)}	
U S D	435,197	1.53% due 01/25/36	393,451

	元本	有価証券の明細	評価額
U S D	902, 324	Alternative Loan Trust 2006-OA3 Class 2A1 ^{(a), (b)} 1. 44% due 05/25/36	788, 909
U S D	1, 089, 366	Alternative Loan Trust 2007-AL1 Class A1 ^{(a), (b)} 1. 48% due 06/25/37	773, 105
U S D	363, 227	MASTR Resecuritization Trust 2008-3 Class A1 ^{(b), (d)} 1. 46% due 08/25/37	253, 169
U S D	861, 081	Structured Asset Mortgage Investments II Trust 2005-AR3 Class 1A1 ^{(a), (b)} 1. 50% due 08/25/35	766, 439
		米国合計（簿価 \$10, 794, 066）	11, 287, 902
		債券合計（簿価 \$11, 035, 195）	11, 548, 057
		証券数 株式リンク証券（11. 9%）	
		カナダ（2. 5%）	
		Canadian Imperial Bank of Commerce into Texas Instruments, Inc. due 10/18/17	125, 889
		Canadian Imperial Bank of Commerce into Ultra Beauty, Inc. due 08/24/17	73, 170
		Royal Bank of Canada into Alphabet, Inc. due 10/20/17	124, 894
		Royal Bank of Canada into Baker Hughes due 10/18/17	75, 033
		Royal Bank of Canada into Citigroup, Inc. due 08/29/17	128, 657
		Royal Bank of Canada into Costco Wholesale Corp. due 10/03/17	124, 371
		Royal Bank of Canada into Darden Restaurants, Inc. due 08/22/17	47, 337
		Royal Bank of Canada into Delta Air Lines, Inc. due 08/29/17	113, 660
		Royal Bank of Canada into Du Pont (E. I.) De Nemours due 10/20/17	48, 960
		Royal Bank of Canada into JetBlue Airways due 10/20/17	48, 847
		Royal Bank of Canada into JP Morgan Chase & Co. due 08/29/17	126, 012
		Royal Bank of Canada into Merck & Co., Inc. due 10/25/17	125, 533
		Royal Bank of Canada into Wells Fargo & Co. due 08/29/17	124, 104
		カナダ合計（簿価 \$1, 301, 786）	1, 286, 467
		フランス（3. 0%）	
		BNP Paribas Arbitrage Issuance BV into Abbott Laboratories due 09/08/17	73, 480
		BNP Paribas Arbitrage Issuance BV into Bank of America Corp. due 08/31/17	126, 979
		BNP Paribas Arbitrage Issuance BV into BASF SE due 09/20/17	74, 988
		BNP Paribas Arbitrage Issuance BV into Caterpillar, Inc. due 10/20/17	124, 847

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）

証券数	有価証券の明細	評価額
2,953	BNP Paribas Arbitrage Issuance BV into Charles Schwab Corp. due 08/31/17	126,384
1,202	BNP Paribas Arbitrage Issuance BV into E*TRADE Financial Corp. due 09/08/17	49,608
1,705	BNP Paribas Arbitrage Issuance BV into Microsoft Corp. due 09/08/17	124,029
837	BNP Paribas Arbitrage Issuance BV into Nucor Corp. due 09/07/17	49,031
1,336	BNP Paribas Arbitrage Issuance BV into Steel Dynamics, Inc. due 09/07/17	48,143
6,653	BNP Paribas Arbitrage Issuance BV into Telefonica S. A. due 09/20/17	74,988
407	BNP Paribas Arbitrage Issuance BV into United Rentals, Inc. due 09/07/17	48,960
674	BNP Paribas Arbitrage Issuance BV into UnitedHealth Group, Inc. due 09/12/17	127,963
523	Societe Generale S. A. into Boeing Co. due 09/21/17	125,495
717	Societe Generale S. A. into Daimler AG due 09/14/17	50,476
1,387	Societe Generale S. A. into DR Horton, Inc. due 09/21/17	50,012
808	Societe Generale S. A. into Hilton Worldwide Holdings, Inc. due 09/21/17	50,395
2,155	Societe Generale S. A. into PayPal Holdings, Inc. due 09/21/17	128,444
2,307	Societe Generale S. A. into Peugeot S. A. due 09/14/17	49,775
782	Societe Generale S. A. into Xilinx, Inc. due 09/21/17	49,896
	フランス合計 (簿価 \$1,558,435)	1,553,893
	ドイツ (1.2%)	
1,364	Deutsche Bank AG into Alcoa Corp. due 09/07/17	49,929
1,067	Deutsche Bank AG into Electronic Arts, Inc. due 10/18/17	125,017
559	Deutsche Bank AG into Goldman Sachs Group, Inc. due 09/08/17	126,311
145	Deutsche Bank AG into Kering due 09/20/17	50,435
1,169	Deutsche Bank AG into Novo Nordisk A/S due 08/31/17	50,313
1,632	Deutsche Bank AG into T-Mobile U. S., Inc. due 09/07/17	100,658
1,600	Deutsche Bank AG into Walgreens Boots Alliance, Inc. due 10/17/17	127,699
	ドイツ合計 (簿価 \$624,693)	630,362
	日本 (0.1%)	

証券数	有価証券の明細	評価額
2, 208	HSBC Bank PLC into Dai-Ichi Life Holdings, Inc. due 08/04/17	38, 126
946	Nomura International Funding Pte, Ltd. into Dai-Ichi Life Holdings, Inc. due 08/04/17	15, 941
	日本合計 (簿価 \$51, 619)	54, 067
	スイス (0. 4%)	
327	Credit Suisse AG into Humana, Inc. due 08/01/17	76, 215
387	Credit Suisse AG into Parker Hannifin Corp. due 07/31/17	63, 495
387	due 08/01/17	63, 756
	スイス合計 (簿価 \$200, 625)	203, 466
	英国 (1. 0%)	
2, 729	Barclays Bank PLC into KeyCorp. due 09/12/17	49, 449
779	Barclays Bank PLC into WPP PLC due 08/23/17	15, 875
1, 681	due 08/23/17	34, 307
326	HSBC Bank PLC into ASML Holding NV due 10/12/17	49, 497
1, 913	HSBC Bank PLC into Mylan NV due 08/04/17	74, 573
1, 319	HSBC Bank PLC into Philips NV due 09/12/17	50, 431
503	Nomura Bank International PLC into Crown Castle International Corp. due 09/08/17	50, 511
807	Nomura International Funding Pte, Ltd. into Home Depot, Inc. due 08/14/17	121, 483
714	Nomura International Funding Pte, Ltd. into Norwegian Cruise Line Holdings Ltd. due 08/04/17	39, 108
714	due 08/07/17	39, 019
	英国合計 (簿価 \$522, 560)	524, 253
	米国 (3. 6%)	
521	Citigroup, Inc. into Allergan PLC due 08/07/17	129, 307
634	Citigroup, Inc. into Constellation Brands, Inc. due 10/02/17	123, 756
1, 421	Citigroup, Inc. into Newell Brands, Inc. due 08/07/17	75, 471
253	Citigroup, Inc. into O'Reilly Automotive, Inc. due 09/21/17	50, 584
542	Citigroup, Inc. into Tiffany & Co. due 08/22/17	51, 462
542	due 08/23/17	51, 397
962	Goldman Sachs International into Autodesk, Inc. due 08/29/17	105, 129
1, 149	Goldman Sachs International into Carnival Corp. due 09/25/17	76, 588

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）

証券数	有価証券の明細	評価額
1,639	Goldman Sachs International into Lowe's Co., Inc. due 08/23/17	126,816
554	Goldman Sachs International into Tiffany & Co. due 08/23/17	51,854
503	Goldman Sachs International into Workday, Inc. due 08/31/17	51,131
481	J. P. Morgan Structured Products BV into SAP SE due 09/12/17	50,738
2,898	J. P. Morgan Structured Products BV into Volvo AB due 10/19/17	48,702
2,130	Merrill Lynch International & Co. CV into ABB Ltd. due 10/19/17	49,229
2,661	Merrill Lynch International & Co. CV into Applied Materials, Inc. due 08/10/17	118,770
404	Merrill Lynch International & Co. CV into Domino's Pizza, Inc. due 10/25/17	75,319
590	Merrill Lynch International & Co. CV into FedEx Corp. due 09/14/17	123,726
476	Merrill Lynch International & Co. CV into Kansas City Southern due 10/18/17	49,454
940	Merrill Lynch International & Co. CV into Lennar Corp. due 09/14/17	49,855
940	Merrill Lynch International & Co. CV into Lennar Corp. due 09/15/17	49,865
3,131	Merrill Lynch International & Co. CV into MGM Resorts International due 08/03/17	103,283
2,706	Merrill Lynch International & Co. CV into Morgan Stanley due 10/12/17	127,609
1,319	Merrill Lynch International & Co. CV into Suntrust Banks, Inc. due 10/18/17	75,262
	米国合計（簿価 \$1,809,292）	1,815,307
	株式リンク証券合計（簿価 \$6,069,010）	6,067,815
証券数	上場投資信託（ETF）（57.4%）	
	米国（57.4%）	
60,095	Alerian MLP ETF	721,140
25,187	iShares 10+ Year Credit Bond ETF ^(e)	1,556,305
14,341	iShares 1-3 Year Credit Bond ETF ^(e)	1,513,119
12,800	iShares Core High Dividend ETF ^(e)	1,081,728
101,980	iShares iBoxx \$ High Yield Corporate Bond ETF ^(e)	9,067,042
31,421	iShares iBoxx \$ Investment Grade Corporate Bond ETF ^(e)	3,805,397
29,787	iShares International Developed Real Estate ETF ^(e)	872,759
107,373	iShares International Select Dividend ETF ^(e)	3,598,069
6,674	iShares U.S. Real Estate ETF ^(e)	538,325
168,737	iShares U.S. Preferred Stock ETF ^(e)	6,622,927
	米国合計	29,376,811
	上場投資信託（ETF）合計（簿価 \$28,526,356）	29,376,811
	投資信託（4.8%）	
	ルクセンブルク（4.8%）	
24,215	BlackRock Global Funds - Emerging Markets Equity Income Fund Class X6 ^(e)	269,756

証券数	有価証券の明細	評価額
201,422	BlackRock Global Funds - Asian Tiger Bond Fund Class X3 ^(e)	2,159,246
	ルクセンブルク合計	2,429,002
	投資信託合計 (簿価 \$2,334,821)	2,429,002
契約数	購入済みオプション (0.0%)	
	米国 (0.0%)	
	S&P 500 Index	
2	@ 2,350 due Oct 2017	4,220
	S&P 500 Index	
3	@ 2,300 due Oct 2017	4,590
	S&P 500 Index	
4	@ 2,375 due Oct 2017	10,080
	米国合計	18,890
	購入済みオプション合計 (支払済みプレミアム \$29,283)	18,890
元本	短期運用 (8.1%)	
	グランド・ケイマン (0.0%)	
	定期預金 (0.0%)	
	Brown Brothers Harriman & Co.	
EUR	1,126 -0.56% due 08/01/17	1,328
JPY	9,991 -0.22% due 08/01/17	90
GBP	12,705 0.05% due 08/01/17	16,750
NOK	1 0.07% due 08/01/17	0
AUD	1,638 0.58% due 08/01/17	1,308
USD	3,009 0.59% due 08/01/17	3,009
	定期預金合計	22,485
	グランド・ケイマン合計 (簿価 \$22,485)	22,485
	日本 (0.8%)	
	定期預金 (0.8%)	
	Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd.	
JPY	46,526,203 -0.22% due 08/01/17	421,071
	定期預金合計	421,071
	日本合計 (簿価 \$421,071)	421,071
	オランダ (0.0%)	
	定期預金 (0.0%)	
	ING Bank	
AUD	25,451 0.58% due 08/01/17	20,319
	定期預金合計	20,319
	オランダ合計 (簿価 \$20,319)	20,319
	プエルトリコ (2.5%)	
	定期預金 (2.5%)	
	Citibank N. A.	
USD	1,271,640 0.59% due 08/01/17	1,271,640
	定期預金合計	1,271,640
	プエルトリコ合計 (簿価 \$1,271,640)	1,271,640
	スウェーデン (0.1%)	
	定期預金 (0.1%)	
	Skandinaviska Enskilda Banken AB	
SEK	412,256 -0.95% due 08/01/17	50,965

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）

	元本	有価証券の明細	純資産に 占める割合	評価額
		定期預金合計		50,965
		スウェーデン合計（簿価 \$50,965）		50,965
		スイス（0.1%）		
		定期預金（0.1%）		
		Credit Suisse AG		
C H F	48,001	−1.45% due 08/02/17		49,749
		定期預金合計		49,749
		スイス合計（簿価 \$49,749）		49,749
		英国（1.0%）		
		定期預金（1.0%）		
		Citibank N. A.		
E U R	419,245	−0.56% due 08/01/17		494,290
		定期預金合計		494,290
		英国合計（簿価 \$494,290）		494,290
		米国（3.6%）		
		定期預金（3.6%）		
		JP Morgan Chase & Co.		
U S D	1,838,427	0.59% due 08/01/17		1,838,427
		定期預金合計		1,838,427
		米国合計（簿価 \$1,838,427）		1,838,427
		短期運用合計（簿価 \$4,168,946）		4,168,946
		投資総額（簿価 \$52,163,611）	104.7%	\$ 53,609,521
		現金および他の資産を超過する負債	(4.7)	(2,418,697)
		純資産	100.0%	\$ 51,190,824

投資明細表に記載の有価証券はすべて、その証券の所在地よりもカントリーリスクがどこにあるかについて経営陣が最善の評価を行ない分類しています。

- (a) コーラブル債
- (b) 2017年7月31日現在の変動利付証券
- (c) 永久債
- (d) 144A証券 - 1933年証券法の規則144Aのもと登録が免除されている証券。同証券は、登録が免除されている取引によって転売できます。取引の買い手は通常は適格機関投資家。別段の記載がない限り、同証券は非流動資産とみなされません。
- (e) 運用会社の利害関係人

2017年7月31日現在、以下の先物取引について現金 \$368,613をブローカーが保有しています。

2017年7月31日現在の先物建玉（純資産の−0.2%）

ポジション	銘柄	限月	契約枚数	純評価益 / (損)
売り	Euro FX Currency Futures	2017年9月	(14)	\$ (90,058)
買い	Euro STOXX 50 Futures	2017年9月	19	(22,607)
売り	Japan Yen Currency Futures	2017年9月	(6)	(3,589)
買い	Nikkei 225 IDX Futures	2017年9月	3	(1,871)
売り	S&P 500 E-Mini Futures	2017年9月	(17)	(22,104)
売り	U. S. Long Bond Futures	2017年9月	(8)	(10,280)
売り	U. S. Treasury 2-Year Note Futures	2017年9月	(6)	(831)
売り	U. S. Treasury 5-Year Note Futures	2017年9月	(26)	108
買い	U. S. Treasury 10-Year Note Futures	2017年9月	10	(538)
売り	U. S. Ultra Bond Futures	2017年9月	(7)	(1,981)
				\$ (153,751)

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）

2017年7月31日現在のファンドレベルの外国為替先渡契約残高（純資産の-0.0%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	純評価益/(損)
U S D	Deutsche Bank AG	386,379	2017/8/3	E U R	338,000	\$ -	\$ (12,144)	\$ (12,144)
U S D	Deutsche Bank AG	399,134	2017/9/6	E U R	338,000	-	(170)	(170)
						\$ -	\$ (12,314)	\$ (12,314)

2017年7月31日現在のブラジル・リアル・クラスの外国為替先渡契約残高（純資産の1.8%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	純評価益/(損)
B R L	Citibank N. A.	47,100,180	2017/8/10	U S D	14,162,663	\$ 887,178	\$ -	\$ 887,178
B R L	Citibank N. A.	662,721	2017/8/10	J P Y	22,054,971	12,087	-	12,087
B R L	Citibank N. A.	816,418	2017/8/10	E U R	209,316	13,979	-	13,979
						\$ 913,244	\$ -	\$ 913,244

2017年7月31日現在の通貨セレクト・クラスの外国為替先渡契約残高（純資産の0.2%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	純評価益/(損)
C N Y	Citibank N. A.	7,059,676	2017/8/10	U S D	1,034,043	\$ 14,609	\$ -	\$ 14,609
C N Y	Citibank N. A.	96,980	2017/8/10	J P Y	1,611,129	-	(181)	(181)
C N Y	Citibank N. A.	117,805	2017/8/10	E U R	15,283	-	(528)	(528)
I D R	Citibank N. A.	13,914,082,623	2017/8/10	U S D	1,033,612	9,917	-	9,917
I D R	Citibank N. A.	190,824,276	2017/8/10	J P Y	1,611,771	-	(281)	(281)
I D R	Citibank N. A.	232,064,797	2017/8/10	E U R	15,280	-	(618)	(618)
I N R	Citibank N. A.	68,786,119	2017/8/10	U S D	1,059,153	12,029	-	12,029
I N R	Citibank N. A.	944,518	2017/8/10	J P Y	1,651,469	-	(243)	(243)
I N R	Citibank N. A.	1,146,015	2017/8/10	E U R	15,657	-	(621)	(621)
M X N	Citibank N. A.	18,046,981	2017/8/10	U S D	981,382	28,417	-	28,417
M X N	Citibank N. A.	251,268	2017/8/10	J P Y	1,529,290	214	-	214
M X N	Citibank N. A.	310,404	2017/8/10	E U R	14,505	259	-	259
R U B	Citibank N. A.	63,924,443	2017/8/10	U S D	1,058,357	2,407	-	2,407
R U B	Citibank N. A.	879,706	2017/8/10	J P Y	1,650,706	-	(347)	(347)
R U B	Citibank N. A.	1,078,533	2017/8/10	E U R	15,646	-	(558)	(558)
T R Y	Citibank N. A.	4,709,402	2017/8/10	U S D	1,289,705	43,679	-	43,679
T R Y	Citibank N. A.	65,410	2017/8/10	J P Y	2,009,304	328	-	328
T R Y	Citibank N. A.	79,994	2017/8/10	E U R	19,062	164	-	164
						\$ 112,023	\$ (3,377)	\$ 108,646

2017年7月31日現在の円ヘッジ・クラスの外国為替先渡契約残高（純資産の0.4%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	純評価益/(損)
J P Y	Citibank N. A.	1,031,042,692	2017/8/10	U S D	9,123,535	\$ 210,712	\$ -	\$ 210,712
J P Y	Citibank N. A.	17,243,872	2017/8/10	E U R	134,847	-	(2,937)	(2,937)
						\$ 210,712	\$ (2,937)	\$ 207,775

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）

通貨の略称：

AUD	-	豪ドル
BRL	-	ブラジル・リアル
CHF	-	スイス・フラン
CNY	-	中国元
EUR	-	ユーロ
GBP	-	英ポンド
IDR	-	インドネシア・ルピア
INR	-	インド・ルピー
JPY	-	日本円
MXN	-	メキシコ・ペソ
NOK	-	ノルウェー・クローネ
RUB	-	ロシア・ルーブル
SEK	-	スウェーデン・クローネ
TRY	-	トルコ・リラ
USD	-	米ドル

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第40期の決算日（2018年8月20日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を56ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2018年2月20日から2018年8月20日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
723 国庫短期証券 2018/3/5	90,000		
757 国庫短期証券 2018/8/13	50,000		
731 国庫短期証券 2018/7/10	40,000		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2018年8月20日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第6期 (決算日 2017年12月11日)

(計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日)

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの第6期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

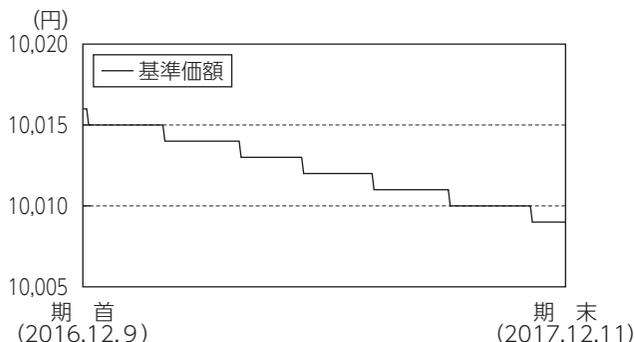
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比 率	
(期首)2016年12月9日	円	%	%
	10,016	-	28.2
12月末	10,015	△0.0	-
2017年1月1日	10,015	△0.0	31.1
2月末	10,014	△0.0	25.3
3月末	10,014	△0.0	-
4月末	10,013	△0.0	35.3
5月末	10,012	△0.0	5.1
6月末	10,012	△0.0	0.6
7月末	10,011	△0.0	0.1
8月末	10,011	△0.0	-
9月末	10,010	△0.1	-
10月末	10,010	△0.1	-
11月末	10,009	△0.1	-
(期末)2017年12月11日	10,009	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,016円 期末：10,009円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	33,310,870	(36,270,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

		当		期	
		買	付	売	付
銘	柄	金 額	金 額	柄	金 額
		千円	千円		千円
645	国庫短期証券 2017/2/20	4,280,100			
669	国庫短期証券 2017/6/12	3,020,099			
657	国庫短期証券 2017/4/17	2,860,055			
659	国庫短期証券 2017/4/24	2,650,077			
652	国庫短期証券 2017/3/27	2,530,020			
642	国庫短期証券 2017/2/6	2,410,036			
644	国庫短期証券 2017/5/12	2,070,088			
651	国庫短期証券 2017/3/21	1,970,049			
660	国庫短期証券 2017/5/1	1,450,027			
638	国庫短期証券 2017/1/16	1,270,010			

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

■組入資産明細表

当期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	17,415,714	100.0
投資信託財産総額	17,415,714	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	17,415,714,754円
コール・ローン等	17,415,714,754
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A - B)	17,415,714,754
元本	17,399,953,390
次期繰越損益金	15,761,364
(D) 受益権総口数	17,399,953,390口
1万口当り基準価額(C / D)	10,009円

* 期首における元本額は10,476,400,958円、当期中における追加設定元本額は9,625,428,641円、同解約元本額は2,701,876,209円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジあり) 999円、ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジなし) 999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム(毎月分配型) 219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム(年2回決算型) 24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム(毎月分配型) 848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム(年2回決算型) 66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジあり) 6,592,748円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジなし) 10,288,683円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(年1回決算型) 4,995円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(年1回決算型) 4,995円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-04(為替ヘッジあり/限定追加型) 999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-07(為替ヘッジあり/限定追加型) 999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-10(為替ヘッジあり/限定追加型) 999円、世界ハイブリッド証券ファンド2015-01(為替ヘッジあり/限定追加型) 999円、ダイワ・ブラジル・レアル債α(毎月分配型) -スーパー・ハインカム-α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α(毎月分配型) -スーパー・ハインカム- α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ32,460,107円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド-シフト11 Ver 3-858,588,190円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド-シフト11 Ver 6-3,325,620,751円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド-シフト11 Ver 7-828,595,357円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド-シフト11 Ver 4-3,326,673,327円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド-シフト12 Ver 2-549,443,563円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド-シフト11 Ver 5-2,095,808,384円、ダイワ円債セレクト マネーコース808,108,471円、ダイワ・スイス高配当株ツインα(毎月分配型) 2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース5,990,216円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 日本円コース1,397,544円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) ブラジル・レアル・コース3,994,008円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,597,623円、ダイワ世界インカム・ハンター(年2回決算型) 為替ヘッジあり40,885円、ダイワ世界インカム・ハンター(年2回決算型) 為替ヘッジなし100,789円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(毎月分配型) 1,235円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(毎

月分配型) 1,598円、通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 日本円コース(毎月分配型) 1,544円、通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 通貨セレクトコース(毎月分配型) 1,984円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド(限定追加型) -シフト11-3,536,610,361円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド(限定追加型) -シフト12-679,321,043円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド(限定追加型) -シフト13-1,287,713,056円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,009円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 8,299,426円
受取利息	△ 922,829
支払利息	△ 7,376,597
(B) 有価証券売買損益	△ 2,491
売買損	△ 2,491
(C) その他費用	△ 174,287
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 8,476,204
(E) 前期繰越損益金	16,325,703
(F) 解約差損益金	△ 3,147,995
(G) 追加信託差損益金	11,059,860
(H) 合計(D + E + F + G)	15,761,364
次期繰越損益金(H)	15,761,364

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。